



購読希望の方は上記宛へお申込み下さい。年間購読料 5,000円



新樹種部会 令和2年度新樹種部会 通常総会開催



真鍋憲太郎部会長

令和2年度新樹種部会通常総会は、冬らしい冷え込みの中、17名の参加を得て、2月5日(水)岡山県岡山市のアーケホテル岡山において開催された。総会は、母下副部会長の司会で進行し、森川副部会長の開会宣言で開始され、初めに真鍋憲太郎部会長は緑化業界を取り巻く現況を魅力ある新樹種を作り出すことで乗り越えていこうと挨拶し、引き続き鶴飼幸治担当理事から報告がなされ、司会者に一任されたところ、司会者に一任との提案を受けたことから、議長に岡山県支部の國忠征美氏を指名した。議長は、議事録署名人に兵庫県支部の石井力氏と埼玉県支部の金岡栄興氏と埼玉県支部の承認を得た後、議案第1号議案を審議し、採択を行い、賛成多数をもって第1号議案が承認された。

「癒し」「学び」そして「笑顔」、「特別賞には「モテなし花だん」、他入賞者による企画の「MELIEKI」、「みどり香るまちづくり」企画コンテスト表彰式には善通寺市の「香りあふれる五岳の里「緑香」、日本アロマ環境協会賞には高藏寺ニユータウン・ハナモモ桃源郷の会の「四季を通じ五感で楽しめるハナモモの街」、日本農業・バイオ専門学校の「香りが作るココロの健康」など、多くの賞が授与されました。

総会終了後、記念講演・講話が開催された。第1部は(株)光園芸取締役会長の大村城司氏が事務局からの決算報告が行われ、経費の使途についても正當であるとの監査報告が行われた。議長はこの報告を受け、審議、採択を行い、賛成多数をもって第1号議案が承認された。

総会終了後、記念講演・講話が開催された。大村氏は霧が発生する地域では瑞々しい植木が育つとモアたっぷりに話された。大村氏は霧が発生する地域総会終了後、記念講演・講話が開催された。

総会終了後、記念講演・講話が開催された。大村城司氏が事務局からの決算報告が行われ、経費の使途についても正當であるとの監査報告が行われた。議長はこの報告を受け、審議、採択を行い、賛成多

総会記念講演



講話 安藤敏夫顧問

第2号議案について、真鍋部会長より事業計画案の動向及び主要会議等の報告を行い、引き続き各委員長(栗原隆治みどり香るまちづくり事業委員長、越川芳弘広報発信委員長、川原田邦彦ビジョン検討室長、川原山崎隆雄推奨有望樹種選抜委員長)から事業報告がなされ、事務局より令和2年度予算(案)の説明がなされた。次に、議長選出が行われ、司会者が出席者に諮詢したところ、司会者に一任との提案を受けたことから、議長に岡山県支部の國忠征美氏を指名した。議長は、議事録署名人に兵庫県支部の石井力氏と埼玉県支部の金岡栄興氏と埼玉県支部の承認を得た後、議案第1号議案を審議し、採択を行い、賛成多数をもって第2号議案が承認された。

議長はこの提案を受けたところ、司会者に一任との提案を受けたことから、議長に岡山県支部の國忠征美氏を指名した。議長は、議事録署名人に兵庫県支部の石井力氏と埼玉県支部の金岡栄興氏と埼玉県支部の承認を得た後、議案第1号議案を審議し、採択を行い、賛成多数をもって第2号議案が承認された。

総会終了後、記念講演・講話が開催された。大村城司氏が事務局からの決算報告が行われ、経費の使途についても正當であるとの監査報告が行われた。議長はこの報告を受け、審議、採択を行い、賛成多



「新潟農業・バイオ専門学校」に賞状を贈る宍倉孝行会長

2月21日(金)に環境省第一会議室にて第14回「みどり香るまちづくり」企画コンテスト表彰式が開催された。この企画コンテストは、香り樹木や草花を使用したみどり香るまちづくりの優良な香り環境を創出する企画を支援する目的で環境省が主催し、(公社)日本アロマ環境協会(公社)において開催されている。表彰式には宍倉孝行会長、秋山富士雄選考委員、新樹種部会から栗原隆治みどり香るまちづくり事業委員長、石川剛幹事が出席した。表彰式は、八木哲也環境大臣政務官より、開会挨拶がされた後、プレゼンター及び選考委員の方々が紹介され、表彰式に移った。

表彰式では、環境大臣賞1点、におい・かおり環境協会賞1点、日本アロマ環境協会賞1点、日本植木協会賞1点のほか入賞2点・

講評を行う秋山富士雄選考委員

感度を楽しめるハナモモ桃源郷の会の「四季を通じ五感で楽しめるハナモモの街」、日本農業・バイオ専門学校の「香りが作るココロの健康」など、多くの賞が授与されました。



「日本植木協会賞の新潟農業・バイオ専門学校」の皆さんと記念写真(宍倉会長 右後ろ)

受賞者発表終了後に、株式会社生活の木の佐々木薫氏による「進化するハーブ園生活の木薬草園からの発信~地域住民とのコミュニケーション」を行われた。なお、受賞5団体(入賞除)には日本アロマ環境協会より、副賞の樹木が贈られる。

二ティイ形成の場づくり~」をテーマとした講演がされた。この講演をもってイベントのすべてが滞りなく終了した。



「みどり香るまちづくり」企画コンテスト表彰式

環境省主催 第14回「みどり香るまちづくり」企画コンテスト表彰式

特別賞1点の7団体が表彰された。環境大臣賞には、沖縄県「人の和を香りでつながる」において、かおり環境協会賞には善通寺市の「香りあふれる五岳の里「緑香」、日本アロマ環境協会賞には高藏寺ニユータウン・ハナモモ桃源郷の会の「四季を通じ五感で楽しめるハナモモの街」、日本農業・バイオ専門学校の「香りが作るココロの健康」など、多くの賞が授与されました。

「癒し」「学び」そして「笑顔」、「特別賞には「モテなし花だん」、他入賞者による企画の「MELIEKI」、「みどり香るまちづくり」企画コンテスト表彰式には善通寺市の「香りあふれる五岳の里「緑香」、日本アロマ環境協会賞には高藏寺ニユータウン・ハナモモ桃源郷の会の「四季を通じ五感で楽しめるハナモモの街」、日本農業・バイオ専門学校の「香りが作るココロの健康」など、多くの賞が授与されました。

表彰後、受賞者による企画に対する受賞理由・講評が行われた。なお、受賞5団体(入賞除)には日本アロマ環境協会より、副賞の樹木が贈られる。

二ティイ形成の場づくり~」をテーマとした講演がされた。この講演をもってイベントのすべてが滞りなく終了した。

青年部会令和2年度通常総会

岡山市で開催

青年部会・令和2年度通常総会は、岡山市の岡山コソボンシヨンセンターにて2月6日㈭13時より開催された。

定刻通り、中国・四国ブロック徳島県支部の高橋誠氏の司会で進行された。総会参加者80名、委任状参加26名で総会成立の定足数に達したことが報告された。

井秀史(前)副部会長の開会宣言に続いて、森田直樹(前)部会長(前)部会長が昨年に続き自然災害が多かった一年だが、皆さんの協力により青年部会40周年を無事迎えられたとお詫び述べられましたが、皆さんとの協力を自慢が、皆さんのご協力により青年部会40周年を無事迎えられたとお詫び述べられましたが、皆さんのご協力を自慢

た。また今年はオリンピック・パラリンピック開催の年として今後に向けての業

界を若い力で引っ張っていく力強いメッセージとともに、青年部会員数を増やすための協力もお願いしたいと挨拶があった。

来賓挨拶では、担当理事である辰巳広之氏より、自身が青年部会を退会してから16年ぶりに青年部会総会に担当理事として出席することができ、とても嬉しい

と思います。植木業界の発展がつながっています。私の役割は皆さんの意見を親会に持つていき、出来る限り応援していく」と心強いお話を頂いた。

次に中国・四国ブロック長の森本泰好氏からは、日本のみならず世界の植木業界へと、将来のある青年部会の皆さんには、ハード面ソフトと多角方面からのこ

と第四号議案は関連性があるため、一括審議の提案があり会場より賛同を得た。

第一号議案 平成31年度事業報告、第二号議案 平成31年度決算・監査報告について。

平成31年度事業報告は森田(前)部会長、荒井(前)副部会長、柏木(前)総務委員長、福島(前)事業委員長、幹事・支部長合同会議、全国研修により、部員動向、各ブロック長、福島(前)事業委員長、幹事・支部長合併、幹事・支部長合併の強化、研修の充実、PR活動の推進、本協会事業への参加の報告、荒井(前)副部会長から交際の実施計画の立ても運営出前記念準備金積立そして緑育出前

た。また今年はオリンピック・パラリンピック開催の年として今後に向けての業界を若い力で引っ張っていく力強いメッセージとともに、青年部会員数を増やすための協力もお願いしたいと挨拶があった。

来賓挨拶では、担当理事である辰巳広之氏より、自身が青年部会を退会してから16年ぶりに青年部会総会に担当理事として出席することができ、とても嬉しい

と思います。植木業界の発展がつながっています。私の役割は皆さんの意見を親会に持つていき、出来る限り応援していく」と心強いお話を頂いた。

次に中国・四国ブロック長の森本泰好氏からは、日本のみならず世界の植木業界へと、将来のある青年部会の皆さんには、ハード面

と第四号議案は関連性があるため、一括審議の提案があり会場より賛同を得た。

第一号議案 平成31年度事業報告、第二号議案 平成31年度決算・監査報告について。

平成31年度事業報告は森田(前)部会長、荒井(前)副部会長、柏木(前)総務委員長、福島(前)事業委員長、幹事・支部長合併の強化、研修の充実、PR活動の推進、本協会事業への参加の報告、荒井(前)副部会長から交際の実施計画の立ても運営出前記念準備金積立そして緑育出前

た。また今年はオリンピック・パラリンピック開催の年として今後に向けての業界を若い力で引っ張っていく力強いメッセージとともに、青年部会員数を増やすための協力もお願いしたいと挨拶があった。

来賓挨拶では、担当理事である辰巳広之氏より、自身が青年部会を退会してから16年ぶりに青年部会総会に担当理事として出席することができ、とても嬉しい

と思います。植木業界の発展がつながっています。私の役割は皆さんの意見を親会に持つていき、出来る限り応援していく」と心強いお話を頂いた。

来賓挨拶では、担当理事である辰巳広之氏より、自身が青年部会を退会してから16年ぶりに青年部会総会に担当理事として出席する

た。また今年はオリンピック・パラリンピック開催の年として今後に向けての業界を若い力で引っ張っていく力強いメッセージとともに、青年部会員数を増やすための協力もお願いしたいと挨拶があった。

た。

青年部会新役員(令和2、3年度)

役職	都道府県	氏名	社園名
幹事	福岡	福島 啓輔	(有)福岡緑化情報センター
副部会長	三重	浅井 洋平	(株)浅井農園
事業委員長	千葉	越川 芳弘	(有)越川園
総務委員長	東京	植島 春樹	植島植木(有)
	茨城	海老澤 伊器夫	関東緑水㈱
	埼玉	森田 圭	(有)足立農園
	神奈川	鎌田 健作	鎌田園芸
	愛知	高村 哲郎	若松園
	関西	大西 淳太	大西農園種苗場
ブロック長	鳥取	田宮 慎二	(有)田宮園芸
ブロック長	熊本	井上 致伸	井上青華園
監事	愛知	森田 直樹	(株)レコムグリーン
	茨城	荒井 秀史	荒井苗木園

記念講演 環境問題を考える
気象予報士 国本未華氏
(くにもとみか)

午後3時10分より下記内容で総会後記念講演が行われた。

午後3時10分より下記内

容で総会後記念講演が行わ

れた。

お天気予報は、ただお天

ニースが多くあるんで

す」と、テレビで見れる

ようにずっとチャーミングで

あります。

よりずっと快活なトークで講演

始めました。

お天気予報は、ただお天

ニースが多くあるんで

す。

こういう日はお天気

ニュースが多くあるんで

す」と、テレビで見れる

ようにずっとチャーミングで

あります。

よりずっと快活なトークで講演

始めました。

お天気予報は、ただお天

ニースが多くあるんで

す。

こういう日はお天気

ニュースが多くあるんで

す」と、テレビで見れる

ようにずっとチャーミングで

あります。

よりずっと快活なトークで講演

始めました。

お天気予報は、ただお天

ニースが多くあるんで

す。

こういう日はお天気

ニュースが多くあるんで

す」と、テレビで見れる

ようにずっとチャーミングで

あります。

よりずっと快活なトークで講演

始めました。

お天気予報は、ただお天

ニースが多くあるんで

す。

こういう日はお天気

ニュースが多くあるんで

す」と、テレビで見れる

ようにずっとチャーミングで

あります。

よりずっと快活なトークで講演

始めました。

お天気予報は、ただお天

ニース多くあるんで

す。

こういう日はお天気

ニュース多くあるんで

す」と、テレビで見れる

ようにずっとチャーミングで

あります。

よりずっと快活なトークで講演

始めました。

お天気予報は、ただお天

ニース多くあるんで

す。

こういう日はお天気

ニュース多くあるんで

す」と、テレビで見れる

ようにずっとチャーミングで

あります。

よりずっと快活なトークで講演

始めました。

お天気予報は、ただお天

ニース多くあるんで

す。

こういう日はお天気

ニュース多くあるんで

す」と、テレビで見れる

ようにずっとチャーミングで

あります。

よりずっと快活なトークで講演

始めました。

お天気予報は、ただお天

ニース多くあるんで

す。

こういう日はお天気

ニュース多くあるんで

す」と、テレビで見れる

ようにずっとチャーミングで

あります。

よりずっと快活なトークで講演

始めました。

お天気予報は、ただお天

ニース多くあるんで

す。

こういう日はお天気

ニュース多くあるんで

す」と、テレビで見れる

ようにずっとチャーミングで

あります。

よりずっと快活なトークで講演

始めました。

お天気予報は、ただお天

ニース多くあるんで

す。

こういう日はお天気

ニュース多くあるんで

す」と、テレビで見れる

ようにずっとチャーミングで

あります。

よりずっと快活なトークで講演

始めました。

お天気予報は、ただお天

ニース多くあるんで

す。

こういう日はお天気

ニュース多くあるんで

す



左から竹本祐子氏、鈴木愛子氏

内で男女ともに考え、一緒に女性活躍について会社組織で改善していく。女性活躍が出来るよう進しようというもののではなく、女性活躍を推進して女性だけで活躍を推進していく。

酒井氏による講演では、決して女性だけで活躍を推進しようというものではなく、女性活躍を広げる造園・環境緑化産業界の役割」をテーマに(一社)日本造園建設業協会の福島啓輔(福岡県)、事業センター・福岡県、事業委員長の越川芳弘氏(越川園・千葉県)が参加した。

「女性活躍を広げる造園・環境緑化産業界の役割」をテーマに(一社)日本造園建設業協会の福島啓輔(福岡県)、事業センター・福岡県、事業委員長の越川芳弘氏(越川園・千葉県)が参加した。

竹本祐子氏(竹本園・鳥取県)、鈴木愛子(鈴木牧場・栃木県)、イシイナーセリー(三重県)、青年部会から部会長の福島啓輔(福岡緑化情報センター・福岡県)、事業委員長の越川芳弘氏(越川園・千葉県)が参加した。

左から竹本祐子氏、鈴木愛子氏

内で男女ともに考え、一緒に女性活躍について会社組織で改善していく。女性活躍が出来るよう進しようというものではなく、女性活躍を推進して女性だけで活躍を推進していく。



※造園・環境緑化産業振興会とは、(一社)日本造園組合連合会(一社)日本ランドスケープコンサルタンツ協会(一社)日本公園施設業協会(一社)日本造園建設業協会(一社)日本運動施設建設業協会と6団体。

鈴木牧場(栃木県)



鈴木さんが一人で出来るようになった根巻き



(有)竹本園(鳥取県)



育苗ハウス



(有)竹本園での女性従業員の株分け作業



出荷の掘り出しも雪かきも女性従業員が行っている



講師 酒井一江氏

「テーマ 女性活躍を広げる 造園・環境緑化産業の役割」

(株)イシイナーセリー(三重県)



1.屋内の作業場内でタマリュウをトレーの中に植えます。性別関係なく同じ作業しています。



2.品質管理のため敢えてライン化せずに生産しているので、午前と午後の作業終了時に各自の作業量と品質を必ず記録します。清掃作業中に行うので、主に男性は作業台等の重量物を移動させて清掃する作業を、女性は枚数チェックを行います。

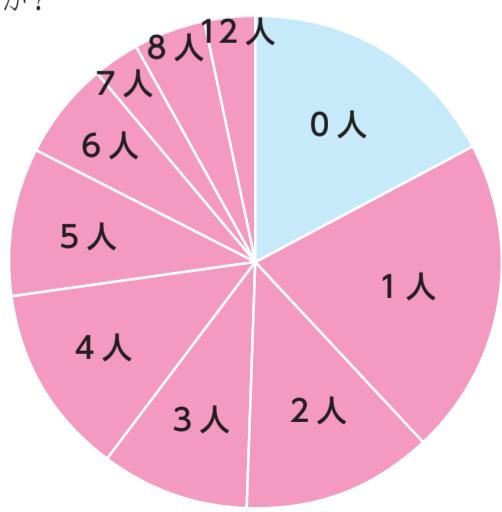


日本植木協会の女性活躍について

現在の(一社)日本植木協会の女性活躍の現状は440会員社園に対して女性代表の社園が5社。昨年青年部会い女性会員が入会1名。

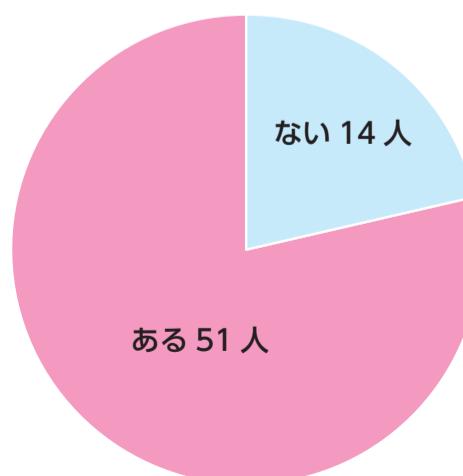
そこで日本植木協会で女性従業員についてアンケートを行った。**65社園の回答**

①社園に女性従業員(パート・アルバイト)は何人いますか?



- 女性従業員の採用が1、2名の社園は、ほとんどは経理や事務職が多かった。
- 女性従業員が多い社園は、圃場管理や設計、デザイン、営業など多岐にわたって活躍している。

②今後女性従業員を採用する予定はありますか?

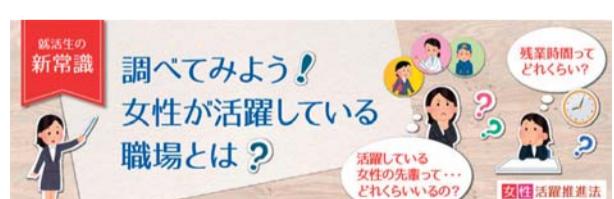


【意見として】

- 女性の方が草取りなど早い。
- 今後営業の出来る女性を採用したい。

- 以前、掘り取りした時は、力もなく男性の半分も出来なかったが、若い男性は暇な時間がある時、携帯をいじっていたが、女性は車内のごみを片づけたり、荷台の掃除をしていてびっくりした。

女性活躍推進法(女性の職業生活における活躍の推進に関する法律2015年成立)を知っていますか?



造園・環境緑化産業の課題

- 技術者・技能者の高齢化と後継者の不足(技術・技能の衰退、指導力の低下)
- 就労人口の減少に伴う、担い手獲得が困難(離職率が高い)
- 整備事業の不足(事業推進力、評価能力の低下(行政))
- 女性招集の呼びかけと現実の乖離(男性の理想と女性の希望が異なる)
- 課題対応のスピード不足(従来の思考から脱却する努力の不足 プライオリティと決断力)

特集 ボックスウッドの学名

株式会社 アスコット
若林芳樹

皆様もご存じだと思いますが、弊社は樹名札の製作を業務の柱として長年努めてきました。その中でお問い合わせのある項目の一つに『ボックスウッド』の学名があります。それは弊社の樹名札では『ボックスウッド』の学名を『*Buxus microphylla* 'Boxwood'としていますが、『ボックスウッド』がセイヨウツゲという別名で流通していることが多いことから、「学名は『*Buxus sempervirens*』ではないか」という問い合わせです。弊社では協会が編集に携わった『緑化樹木ガイドブック』を学名の出典根拠の一つとしていることから、『*Buxus microphylla* 'Boxwood'を採用しています。

現在、わが国に広く流通している『ボックスウッド』は、日本に自生するツゲ (*Buxus microphylla* var. *japonica* 別名ホンツゲあるいはアサマツゲ) がアメリカに渡って改良され、日本へ里帰りしたもので、私が造園業界に足を踏み入れたばかりの頃、現グンゼグリーンの屋敷田氏が、新しい緑化樹木の営業に来られ、『ボックスウッド』の紹介を受けました。だいぶ昔のことで記憶はあいまいになってきましたが、「『ボックスウッド』はスドウツゲやアサマツゲとも呼ばれ、日本原産のツゲがアメリカに渡って改良され、里帰りしたもので」と説明を受けたことを覚えています。ですので、現在、わが国に広く流通している『ボックスウッド』の学名を『*Buxus sempervirens*』とするのは間違います。

ではなぜ、アメリカから里帰りした日本に自生しているツゲの栽培品種の『ボックスウッド』がセイヨウツゲの名前で流通しているかというと、セイヨウツゲはアメリカやヨーロッパでボックスウッド (Box boxwood common box) と呼ばれています。そのため、アメリカから導入された『ボックスウッド』を Boxwood=*Buxus sempervirens* と勘違いしているものと思われます。

ちなみにインターネットで日本のツゲ由來の『ボックスウッド』を検索すると、ほとんどが *Buxus sempervirens* の学名を採用しています。また、セイヨウツゲを検索すると学名は *Buxus sempervirens* となっており正しいのですが、日本の方のホームページに掲載されている写真のほとんどは、本物のセイヨウツゲの写真ではなく、日本のツゲ由來の『ボックスウッド』の写真を誤って掲載しています。

ここでセイヨウツゲと、日本のツゲ由來の『ボックスウッド』について日本の植物図鑑の記述を見てみましょう。

- ・*B.microphylla* の説明の中で、『造園利用の多いのはクサツゲとスドウツゲと呼ばれる冬期に橙褐色を帯びるものである。*B.sempervirens* は、広くヨーロッパ諸国で造園樹に用いられ、生垣やトピアリーにされる。しかし日本では、あまり利用されていない』(園芸植物大事典: 小学館)
- ・セイヨウツゲの記載で、『関東南部以西、四国、九州などに植栽され、日当たりを好むが、高温乾燥に弱く、夏期冷涼な地域に向く』(APG 原色樹木大図鑑: 北隆館)
- ・『セイヨウツゲ(ボクサス・センペルヴィレンス) 昭和40年頃からボックス・ウッドと呼ばれ、非常に多く利用されてきたヨーロッパ原産のツゲです』(ガーデン植物大図鑑: 講談社)

などで、形態的な違いをはっきり記述している書籍は残念ながらありません。

そこで、その違いを明確に記述している資料はないかと色々調べてみたところ、林野庁で森林・林業の研究にかかわってきた塙田宏(たおだ ひろし)氏のインターネットのページ『広島の植物ノート 本編のツゲ属及び 同別冊の平和大通りの樹木その2 ツゲとセイヨウボダイジュ 2014年12月12日』の中に記載がありました。引用すると以下の通りです。

本編のツゲ(栽培種) *Buxus microphylla* Siebold & Zucc. の記載の中で、『近年は葉が広く、秋に黄葉・紅葉する型が多くなった。ボックスウッド、セイヨウツゲ、スドウツゲ、アメリカツゲと呼ばれることがあるが日本のツゲを基にした園芸品種である。セイヨウツゲに由来する栽培変種は葉が卵型、つまり最大幅の位置が中央より下(葉柄の側)になることで区別できる。日本での栽培は少なく、広島県内では見たことがない。』と言いつています。

また別冊の中では、『この栽培品種は、高知県の須藤信喜氏がアメリカより持ち帰り、1970年代に広まったとされている。日本のツバキがヨーロッパで品種改良され、カメリアの名で里帰りしても、決してセイヨウツバキとは呼ばれない。ツバキはツバキである。

アメリカでボックスウッド(boxwood)といえばツゲ属全体を指し、セイヨウツゲは common box、日本のツゲは littleleaf boxwood。

全米ツゲ協会のウェブサイトによると、ボックスウッドはアメリカ型とイングランド型の2種類であるという都市伝説があったそうだ。そのため、須藤自身がアメリカの栽培ツゲを *Buxus sempervirens* と思い込んでいたのかも

しない。』としています。

塙田氏の記述にある、セイヨウツゲと日本のツゲ由來の『ボックスウッド』の区別ポイントである葉の形に着目して、その違いを見てみました(写真参照)。

日本産のツゲ属 (*Buxus*) のうち『ボックスウッド』に関連した種類としては、母種のヒメツゲ(クサツゲ) : *B.microphylla*、変種のツゲ : *B.microphylla* var. *japonica*、チョウセンヒメツゲ : *B.microphylla* var. *insularis* があり、これに栽培品種の『ボックスウッド』 : *B.microphylla* 'Boxwood' が加わります。写真を見ていただければわかりますが、いずれも葉の最大幅の位置は、中央より先端寄りで倒卵形と呼ばれる形です。それに対してセイヨウツゲ : *B.sempervirens* (基本種の写真が撮影できなかったので、自宅で栽培している斑入り品種の 'エレガンティッシュマ' の写真です) の葉の最大幅の位置は、中央より元の方(葉柄寄り)に位置している卵形で、いずれも塙田氏の記述の通りです。納得です。

最後になりますがアメリカから『ボックスウッド』を持ち帰り、文中に出てくる別名の一つの『スドウツゲ』の名前の元となった須藤信喜氏についてですが、須藤氏は高知県の安芸市の方で、この原稿を書くため同じ安芸市の協会員、岡宗農園の岡宗信明氏に「須藤氏が導入した『ボックスウッド』の原木があれば確認したい」と電話で伺ったところ、原木はありませんでしたが意外な事実が判明しました。須藤氏は岡宗氏のおじさんにあたる方で、岡宗氏がこの業界に手を染めることになったのは、須藤氏に『ボックスウッド』の生産の手伝いを頼まれたことがきっかけだったそうです。『ボックスウッド』の原木を確認したいという40余年の願いは成就できませんでしたが、業界は広いようで狭いなど感じた一瞬でした。

参考資料：塙田氏のホームページは以下の通りです。

広島植物ノート ツゲ科 Buxaceae

<http://forests.world.coocan.jp/flora/bux.html>

別冊記事 平和大通りの樹木その2 ツゲとセイヨウボダイジュ

<http://forests.world.coocan.jp/fnote/?p=1873>



①セイヨウツゲ 'エレガンティッシュマ'
葉の最大幅の位置は、中央より葉柄寄り



②ボックスウッド(ツゲ由來)の名前で流通している個体
葉の最大幅の位置は中央より先端寄り



③ツゲ(ホンツゲ アサマツゲ)
葉の最大幅の位置は中央より先端寄り
ボックスウッドによく似ている



④ヒメツゲ(クサツゲ) 学名上はツゲの母種
葉の最大幅の位置は中央より先端寄り



⑤チョウセンヒメツゲ
葉はやや細長いが、最大幅の位置は中央より先端寄り



3学科(農・工・商)を有する総合技術高校

培った知識・技能を生かして毎年行

われる全国造園デザインコンクール

(日本造園建設業協会主催)に応募して

しています。第46回目のコンクール

では、本校の生徒の作品が入賞(特

別賞2作品、入選選



全国造園デザインコンクール入賞者



長野市柳原地区ポケットパークの完成

【沿革】
本校は明治45年、地域の農業振興の要請により上高井郡立乙種農学校として開校しました。その後、数回の校名変更を経て、昭和33年、長野県須坂園芸高等学校と改称し、平成27年に、農・工・商・3学科を有する県下唯一の総合技術高校として長野県須坂創成高等学校が開校しました。

【環境造園科の教育目標】
環境造園科には「緑地計画コース」と「造園技術コース」の2コースが設置され、緑地・造園についての基礎的な知識・技術を習得させるとともに、「緑地計画コース」では、観光資源の活用、生態系や社会福祉に配慮した快適な生活空間や造園空間を創造する学習を行い、造園・生活空間、住環境等の設計・デザイン分野で力を発揮できる人材を育成しています。「造園

【環境造園科の教育目標】
環境造園科には「緑地計画コース」と「造園技術コース」の2コースが設置され、緑地・造園についての基礎的な知識・技術を習得させるとともに、「緑地計画コース」では、観光資源の活用、生態系や社会福祉に配慮した快適な生活空間や造園空間を創造する学習を行い、造園・生活空間、住環境等の設計・デザイン分野で力を発揮できる人材を育成しています。「造園

</



シダレザクラ ‘滝桜’

Cerasus pendula`Pendula`

福島県三春町の『三春滝桜』は、日本三大桜として知られ、一重咲きの色の濃いベニシダレザクラです。樹齢1,000年以上といわれる名木で、花の時期には30万人もの観桜客でにぎわいます。国指定の天然記念物です。

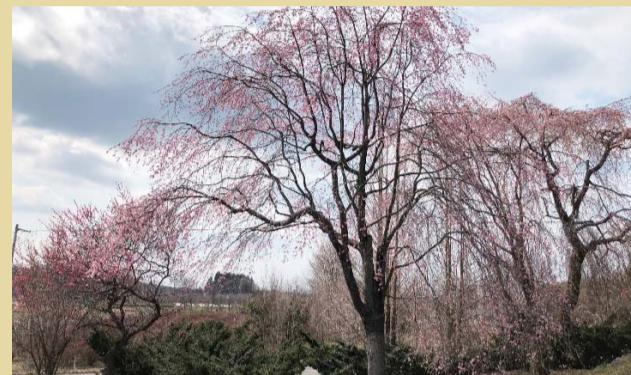
一般に「滝桜」として流通している桜は、実生により生産されているものが多いので、花色に濃淡の個体差が大きく、花色の薄い個体もありますが、この桜は85年前に地元のH氏の祖父が『三春滝桜』の実生苗の中から、花色が『三春滝桜』に最も近いものを選別した個体を母樹とし、接ぎ木繁殖により生産しているもので真正滝桜といえます。



滝桜の孫高さ8m内外



滝桜の孫 (接ぎ木繁殖の母樹)



滝桜の孫 (母樹から接ぎ木繁殖した個体)



滝桜 (国指定天然記念物)



滝桜の孫の花



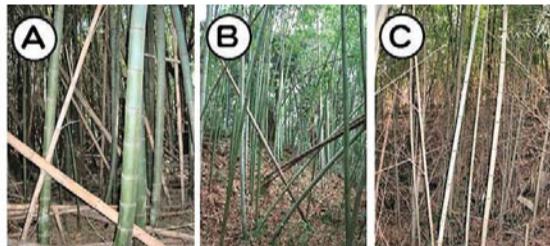
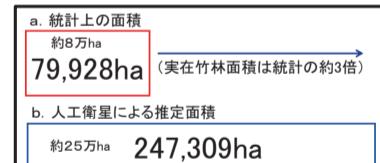
特集

竹はポピュラー、なれど不思議な植物⑪
放置された竹林に見られる竹の生態

渡邊政俊

◆プロフィール

1933年 富山県生まれ。京都外国语短期大学卒。1951~1991年京都大学農学部附属演習林文部技官。この間、故上田弘一郎京大名誉教授の研究を手伝う。1986年九州大学農学博士。1992~2002年(隔年)高知大学農学部非常勤講師。1993年以降林野庁の特用林産ビジョン検討委員会委員など竹・タケノコ関連事業委員を歴任。元国際協力機構(JICA)専門家(1970~72年タイ、1994、95、97年インドネシア、1996年チリ)。現在、竹文化振興協会専門員、京都市洛西竹林公園専門員。

写真1 A: 放置モウソウチク林(岐阜県)
B: 放置マタケ林(京都府)
C: 放置ハチク林(京都府)図1 わが国の竹林面積
a: 平成15年林野庁統計での竹林とタケノコ栽培の合計面積
b: 「里山林等における地球温暖化防止等のための報告書」林野庁(平成17年)

近年、人の手が入っていない放置竹林が目立ち、世間では竹林は山崩れを引き起こすとか、里山の環境を破壊するなどと厳しく批判されています。この見るも無残な放置竹林が目の当たりになったのは平成年代からであり、日本の代表的な3竹種の放置竹林(写真1)はほとんど立ち入ることもできないジャングル化した竹藪の様相を呈している。

さて、林野庁は人工衛星(ランドサット)によって全国の竹林面積を約25万haと推定した(図1、平成17年)。しかし、その当時の林野庁統計によると、竹・タケノコの竹林面積は約8万haであったから、実際に栽培されている竹林面積は人工衛星による推定面積の3割程度であり、全国の竹林の約7割が放置竹林になっているよう推測できた。

その原因は、人びとの生活様態の変化、竹材の需要減退、竹・タケノコの輸入増加、生産者の高齢化などによるもので、竹・タケノコの生産量を林野庁の統計(図2)でみると、平成元年から30年までの30年間に竹材生産量で83%減、またタケノコ生産量でも82%減となっている。すなわち、平成年代に起こった竹林の放置は竹産業界に甚大な影響を及ぼしたのである。

かつて、上田・沼田(1961)は京都市郊外でやっと見つけたマダケとハチクが混生した原生(放置)竹林(写真2)において、昭和27~35年の9年間、新竹と枯竹の発生経過などを調査し、学術的に貴重な結果を得た

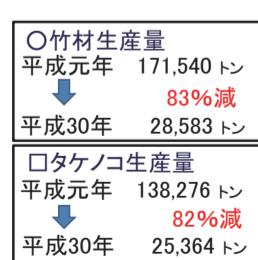


図2 平成元年と同30年の竹材生産量とタケノコ生産量



写真2 上田・沼田が研究した京都市西京区大原野の原生竹林

変化しない生態的に安定した極相(沼田 1974)状態の竹林(A・B区)になることを明らかにしたのである。ただし、この原生竹林の一部(C区)が急傾斜のため崩落の可能性があることから、地形的極相、と結論付けている。したがって、今放置されている竹林は、竹本来の「生きざま」を示しているのである、これが竹の生態学的研究に貴重な存在になっているのであるから、皮肉な話である。

このように、竹林が長期間放置されると、生態的に安定した極相状態で生育し続けることが生態学的に明らかになっているのであるが、一般にはそのような理解ではない傾向にある。たとえば、竹林が永年放置されると、林内が暗くなり、タケノコが生えず、かつ地下茎が明るいところを目指して伸び出すというナレーションとともに、その状態をイラストで放映(写真3)されたこともあり、筆者は愕然とした記憶がある。

竹林が長期間放置され続けた場合、立竹密度は確かに最高に達し、林内が暗くなるが、竹林内には一定量の新竹が生え続け、同時に一定量の立竹が枯死しながら、常に一定量の密度が保たれるのである。すなわち、「現存量一定の傾向」(依田 1971)に移行して竹林が成立し続けるのである。この林相を人の目で見ると、荒れ果てた可哀想な竹林に見えるが、竹類はそのような姿で群落を形成して生き続ける植物なのである。

この竹林の特徴的な生態(生きざま)は放置竹林(竹藪)を生産性の高い竹林に改善する施業(竹林化)を検討する上において最も重要視しなければならない特徴なのである。

引用文献

林野庁(平成元年~30年)特用林産基礎資料。

林野庁(2005)里山林等における地球温暖化防止等のための森林整備に関する調査報告書。

上田弘一郎・沼田眞(1961)京大演習林報告 33:27~54.

沼田 真(1974)生態学辞典. 築地書館。

依田恭二(1971)森林の生態学. 築地書館

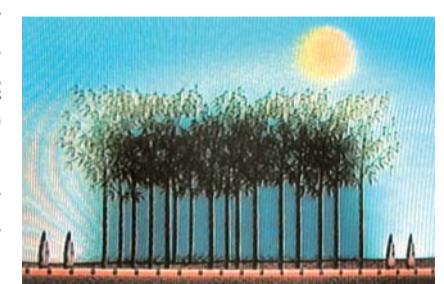


写真3 平成16年6月24日 NHK放映「難問解決 ご近所の底力」の一画面

特集 「希少植物と緑化木」マルバニッケイ

猪上信義

(元福岡県森林林業技術センター研究員)

植木協会運営部の方から何か書いてくれないだろうかと依頼を受けたのは昨年の夏頃だった。かなり以前に、福岡県森林林業技術センターで緑化木の研究をしていたことはある。しかしそれからすでに12年以上経過しており、緑化木業界の現状を何も知らない上に、他にそうそうたる方々がおられる中、何を書いてよいのかなかなか思いつかず、今日までズルズルと来てしまった。あれこれ考えたあげく、半ば苦肉の策として、現在私的に調査している希少植物に関する樹木を取りあげて、その任を果たそうと考えた。どこまで続けられるかはなはだ心許ないのだが、「希少樹木と緑化木」という題を掲げることにする。但し希少樹木といつても小生は他地域のことはほとんど知らないので、あくまで九州北部で見られるものということになる。第一回目はマルバニッケイを取り上げる。

1. マルバニッケイ (*Cinnamomum daphnoides* Sieb. et Zucc.)

これはクスノキ科の常緑小高木。日本固有種で九州地方の主に海岸の断崖に生育する。分布域は沖縄県の硫黄島(南限)、鹿児島県のトカラ列島、屋久島、草垣・宇治群島、同県本土の南海岸、長崎県の男女群島、それに福岡県の大島でここが北限自生地となっている。地図を見ると判るように、九州地方を西海岸沿いに分布している。これは現在では西日本各地に見られて、わかりにくくなっているものの、アオモジ(同じくクスノキ科の落葉小高木)と同じような分布型で、九州西回り植物と呼ばれている。いずれにせよ、このように自生地が九州西側に限定されていることや特殊な環境に生育することなどから、環境省や福岡県をはじめ長崎県、鹿児島県、沖縄県の希少植物に指定されている。(図1 マルバニッケイ分布図)

一般的に希少植物、特に草本類などでは種によって観賞用に乱獲されることがあるので、生育場所を明らかにしないのがルールである。しかしマルバニッケイに関しては小高木であること、数量がかなり多いこと、形状や生育場所の状態などから乱獲されるようなものではないので明らかにするが、大島(宗像市)では一部北海岸の岩上、急斜面、崖下、風衝地の尾根など狭い範囲ではあるが群生している。文献によると、他地域でも同様の場所に生育しているようである。すなわち台風や強風の時には海水がしぶきとなって直接かかるような場所である。大島では木の高さが5~8mの亜高木状のものから1~4m位の低木まで様々で、直径は10cm未満のものが多いが、稀に20cmを越えるような大きなものもある。これ以外の木本類はクロマツ、ハマヒサカキ、ハマビワ、シャリンバイなどであり、草本類では

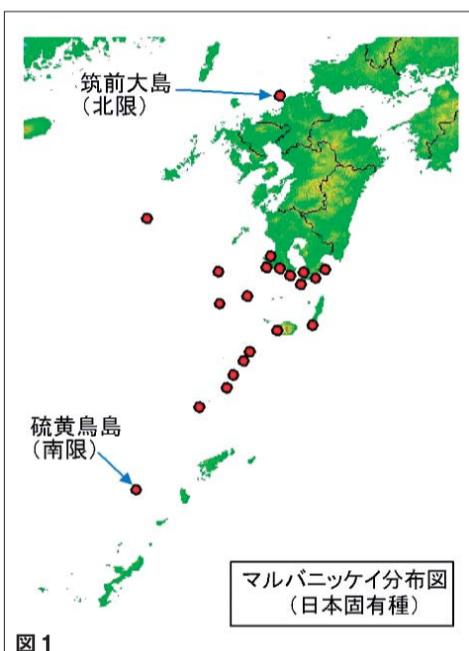


写真2

オニヤブソテツ、ホソバワダン、ツワブキ、ダルマギクなどが生えている。(写真2 マルバニッケイ自生地)

さてその形態を簡単に紹介すると、樹皮は暗灰色でなめらか、枝は密に分かれ、若枝に稜があり細かい毛が生える。葉は硬い革質で倒卵形、長さ3~5cm、3本の葉脈が目立ち、互生する。葉の縁は全円で、裏側に著しく反り返り、葉裏は密に毛があって、白みを帯びる。5月ごろ、長い柄のある花序に黄緑色の花を少数つけるが、あまり目立たない。果実は長さ8~10mmで橢円形の液果で、11~12月に紫黒色に熟す。(写真3 マルバニッケイの葉と花)

この植物の成育環境や形態的な特徴から推察すると、沿海地の緑化木、特に防風・防潮樹などとして利用できそうである。しかし十数年前に行った私の数少ない経験から申しあげると、開花はある程度見られてもそれが種子となる割合はかなり低く、充実した種子となるとさらに低下すること、充実種子であれば発芽率はかなり高いこと、しかしその後の成長が極めて遅いこと、育苗段階ではさしたる病虫害は見られなかったが、大量に育てた場合どうなるか判らないこと、2~3年育てたものでは細根が非常に少なく、移植がかなり難しいことなどの特徴が見られた。これらのことから、緑化木として活用するにはまだ克服すべき課題が多い。そこで例えば実生ではなく挿し木で増やす、露地栽培でなくポット苗で育てる、育てる土壌の種類など様々な試行錯誤が必要と思われる。



写真3

「困った」の声を商品に変える

NIPPORI
日本ポリ鉢販売 株式会社
〒505-0036 岐阜県美濃加茂市山手町3-26-1
TEL: 0574-24-7724
FAX: 0574-24-7728
E-mail: nippori@kpot.co.jp

SPS 事業部の動画公開中!
是非ご覧ください!

地球にやさしく、植物にちから強く。
豊かなグリーンライフを提案します。

- コーティング肥料
ハイコントロール[®]
マイスター[®]
ニュートリコート[®]
- 芝・緑化用肥料
カントリー・ホスカ[®]
グリーン・ホスカ[®]
グリーンベース[®]
バーディー[®]肥料
- 緩効性肥料
ユーバー[®]
ウッドエース[®]
IBワンズ[®]
- 打ち込み肥料
グリーンパイル[®]

発売: ジェイカムアグリ株式会社 グリーンビジネス部
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2丁目6番6号 TEL.03-5297-8910 FAX.03-5297-8908

散布と注入でクビアカツヤカミキリを駆除

さくらを守ろう

散布方法 成虫発生時期に樹木全体(特に主幹部)に十分量の薬液を散布する(希釈倍数:200倍)。

注入方法 フラスを見つけたら食入孔の木屑を除去し、薬液が逆流するまで注入する(希釈倍数:50倍)。

殺虫剤 普通物

マツグリーン[®]液剤2

株式会社ニッソーグリーン 〒110-0005 東京都台東区上野3-1-2 TEL.03-5816-4351 www.ns-green.com

お知らせ

「樹木識別のポイント講習会」参加募集

植木園場から教室に生きた樹木の枝葉を持ち込んで、似ていて間違いややすい樹種を葉と枝だけに見分けられるポイントを学びます。樹木識別のスペシャリストを目指す方におすすめです。なお、会場の都合により参加者は先着順で定員になり次第、締切りとさせていただきます。

1. 日時・場所

東京会場

令和2年6月7日(日) 13:10~16:10

東京都世田谷区桜丘1-1-1

東京農業大学世田谷キャンパス1号館132教室

2. 講師

協会員:川原田邦彦氏、吉澤信行氏、山崎隆雄氏、八木峰夫氏

3. 費用 一般:5,000円、学生:3,000円

4. 定員 各60名

5. 申込締切 東京会場:令和2年5月22日(金)
※造園 CPD・樹木医 CPD プログラム認定申請中

6. 問合せ 協会事務局 木谷 03-3586-7361

「環境緑化樹木識別検定試験」実施のお知らせ

環境緑化樹木識別検定試験は、みどり豊かな環境形成に重要な樹木100種類の名前を正しく識別する検定です。

1. 日時・場所

東京試験会場

令和2年7月4日(土) 13:00~

東京都世田谷区桜丘1-1-1

東京農業大学世田谷キャンパス1号館132教室

2. 受験料 一般:8,000円、学生:4,000円

3. 申込締切 東京試験会場:令和元年6月21日(日)
※造園 CPD プログラム認定 申請中

4. 問合せ 協会事務局 木谷 03-3586-7361

令和2年度 都道府県別供給可能量調査 開始案内

協会事業である、都道府県別供給可能量調査を下記日程で実施します。

全支部の提出に向けご協力を願います。

調査期間:令和2年7月1日(水)~7月31日(金)

※6月下旬に入力用システム搭載のCDを支部長及び各支部のIT委員にお送りします。

※調査結果は官公庁及び造園関係団体にCD配布し、協会ホームページでも公開し、材料調達時の参考にし

ていたとしています。

令和2年度 社園別生産数量調査 開始案内

協会事業である社園別生産数量調査を下記日程で実施します。

全社園様の提出に向けご協力を願います。

調査期間:令和2年6月25日(木)~7月20日(月)

①協会ホームページの会員ページにログインし、IDとパスワードを入力し、社園別生産数量調査入力用システムをダウンロードします。

②データを入力します。

③データ入力完了後アップロード送信します。

※詳細については緑化通信6月号に別紙「入力マニュアル」を同封しますのでご確認願います。

生産数量調査代行入力について

生産数量調査について、エイコスに代行入力をお願いすることも可能です。代行入力は有償となっております。料金の目安は66円/件、及び結果資料の送付料金等となります。希望される方は、下記に電話又はメールをしていただければ、作業詳細書及び入力シートが送付されます。

エイコス 大畠 寿裕

(Tel) 045-309-0018 (Mail) sp_ohata@daiary.ocn.ne.jp
(作業方法)

①入力シートをお送りしますので記入していただき、返送願います。

②入力シートから見積書をお送りします。

③了承いただけてから作業に入り、入力結果をお送りします。

④了承して頂いた結果を調査入力結果とします。

植生アドバイザー育成講座 受講生募集

講座は全3コースで構成されており、1年目は「A 植生調査コース」、2年目は「B 植生景観調査コース」、3年目は「C 植生復元・モニタリングコース」と、1年ごと段階を踏んで受講していただくことで、植生学の基礎～植生調査手法～データの分析と植栽計画の立案～植栽とモニタリングを体系的に修得できるカリキュラムが組まれています。本講座はその優れた内容が評価され、環境省と農水省共管の「人材認定等事業」の育成事業として登録されています。

1. 日時:令和2年8月28日(金)~8月31日(月)

2. 内容:

「A植生調査コース」:植生学の基礎、日本の植生、植生調査方法、野外実習、データ整理と解析

「B植生景観調査コース」:植生景観の基礎、植生景

観調査方法、野外実習、データ整理と解析、景観区分図の作成と修復計画

「C植生復元・モニタリングコース」:生態学的緑化方法、植生景観計画に基づいた植栽計画、植生景観に基づく緑化工法事例

3. 講師:植生学の専門家の先生方で実施いたします。

4. 開催場所:なかのビレジ

(群馬県利根郡川場村中野626)

5. 受講料:協会員60,000円

(6月30日までの早期お申込みの方は57,000円)

協会員以外65,000円

(早期お申込みの方は60,000円)

6. 問合わせ:協会事務局 木谷 03-3586-7361

令和2年度 植生スキルアップセミナー 中止のご案内

植生調査委員会では、今年6月末に日本海側中越地方に位置する新潟県の国上山ブナ林、佐潟海岸砂丘のマツ等の植生観察会を計画しておりましたが、昨今の状況を鑑み、中止とさせていただくこととしました。しかしながら、来年度以降、植生管理士の更なる資質向上を目指し、植生スキルアップセミナーを実施してまいりますので、是非ご参加のほど宜しくお願いいたします。

計報

西谷勝利 様(協会員)

(株)道南園芸(北海道)

令和2年3月18日没 享年85歳

浅見幸彦 様(協会員)

(株)浅見園芸(埼玉県)

令和2年3月16日没 享年76歳

菅澤正夫 様(菅澤直樹氏ご尊父様)

(有)陣屋植木(千葉県)

令和2年3月24日没 享年84歳

横田喜美代 様(横田豊氏のご母堂様)

(有)横田園(東京都)

令和2年3月31日没

石井和子 様(石井 豊氏のご母堂様)

石井植木(神奈川県)

令和2年2月15日没 享年88歳

上村恵子 様(上村眞澄氏のご令室様)

上村農園(福岡県)

令和2年3月没

高機能で安価なエコ培土“アクレE”のご紹介

鈴鹿の生産者の栽培実験で、費用対効果が極めて良好という評価の出た土です！

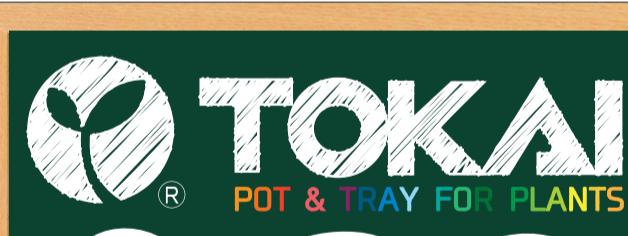
- 肥料調整済みなので、何も混ぜずにそのまま使用可能！
- 排水性・保水性が他の土に比べて非常に良い！
- しかも、水を通して、土がしまっていきにくい！
- 雑草が発生しにくい！(製造時の種の混入が少ない)
- 工業製品なので、安定した品質でご提供可能！



根張り比較実験
左: 育成用改良土
右: アクレE
アクレEの根張りも十分!
これまでの土と遜色ない
結果を出しています!



本社:三重県鈴鹿市神戸7-8-5 TEL 059-382-0040(代) URL: http://minamidekk.co.jp



株式会社東海化成

代表取締役
景山 昌治

〒501-3714
岐阜県美濃市曾代66
TEL 0575-33-4112
FAX 0575-35-1998
http://www.tokai-kasei.co.jp

コンテナ農場(100万本生産)



コンテナ農場



オリーブ



カシツバキ赤花と白花



(株)瀬戸内園芸センター

愛媛県今治市旦甲248-1 TEL 0898-48-0010(代) FAX 0898-48-8187
http://www.setoen.com/ E-mail: setouchi@setoen.com

主な生産物

クロマツ コニファー類 ヤシ類
カシ類 クスノキ タブノキ
モチノキ ウバメガシ オリーブ
カクレミノ クロガネモチ
サンゴジュ シマトネリコ
マテバシイ ヤブツバキ ヤマモモ
レッドドロビン オウゴンマサキ
カンツバキ(赤花と白花) サザンカ
シャリンバイ ツツジ類 トベラ
ハマヒサカキ ヒサカキ ミカン類
サクラ類 イロハモジ ハナモモなど